

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県北上市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	北上市文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>北上市総合計画（平成23年6月策定）と北上市教育振興基本計画（平成23年3月策定）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活かした地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子ども民俗芸能フェスティバル開催事業</li> <li>民俗芸能発表会開催事業</li> <li>大乗神楽公演事業</li> <li>用具の新調事業</li> <li>北上市の神楽調査研究記録作成事業</li> </ol>			
6 実施体制			
<p>北上市が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会教育部文化財課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等  商工部商業観光課：観光業務に関する連携等  また、補助事業は次の団体が実施する。  北上市文化財活性化実行委員会（委員長：菅原 晃）  構成団体（北上市、北上市教育委員会、北上市民俗芸能団体連合会、北上鬼剣舞連合会、北上市文化遺産活性化実行委員会、一般社団法人北上観光コンベンション協会、早池峰岳流更木神楽保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 37,013 千円	平成29年度申請額： 7,673 千円
	(2) 実施事業の概要	民俗芸能団体の技芸の向上と後継者育成の成果発表、後継者育成等に活用するための調査・記録作成	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への確実な継承、及び地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されるほか、北上市の物産を紹介することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	民俗芸能保存育成等補助金（自主財源）		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>本事業の実施により地域一体となって保存・活用を図る機運を醸成し、その状況を勘案しながら歴史文化基本構想の策定を検討していく。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	北上市教育委員会教育部文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	「北上市立鬼の館」の年間入館者数			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度 21,000 人 ⇒ 平成 33 年度 21,500 人					
設定根拠 1 :	域内の民俗芸能「鬼剣舞」に関わる展示を行っている博物館相当施設であり、芸能公演を定期的に開催し民俗芸能発表の機会を提供している。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	民俗芸能保存会数の維持			関連事業:	①②③	
目標値 2 :	平成 28 年度 63 団体 ⇒ 平成 33 年度 63 団体					
設定根拠 2 :	域内の民俗芸能継承保存会が所在する地区の人口減少の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	

